

ちばけん公民館 スタッフニュース



わがまちじまん!!

人と緑が調和し 未来を拓く臨空都市 とみさと

富里市は、千葉県北部の北総台地のほぼ中央に位置し、北は成田市、西は酒々井町、南は八街市、東は芝山町・山武市に接しています。

北総台地の高台地帯である本市は、高崎川、根木名川の源をなし、肥沃な農地や緑豊かな自然環境に恵まれているため、スイカ、にんじん、いも類（じゃがいも、さといも）などが栽培されており、なかでもスイカ、にんじんは、全国でも有数の生産量を誇り、富里市の名産品として出荷されています。

毎年6月に開催されるスイカロードレース大会は、給スイカ所にあるスイカで乾いた喉を潤しながら走るユニークな大会で、全国から約13,000人のランナーが集まります。

平成25年12月には、本市初の国登録有形文化財として「旧岩崎家末廣別邸」が登録されました。「旧岩崎家末廣別邸」は、三菱財閥第三代目総帥だった岩崎久彌氏の邸宅であり、大正末期から昭和期における上流階級の生活様式を垣間みることのできる貴重な近代和風建築物です。現在、市民や専門家などの意見を取り入れながら、公開活用に向けた準備を進めています。

是非富里市へお越しいただき、自然、歴史、名産品などをお楽しみください。

第66回千葉県公民館研究大会

テーマ：館・民・学連携における公民館活動

～地域に根ざした教育機関としての可能性と役割～

日時：平成26年11月28日（金）

会場：芝山文化センター、芝山町役場南庁舎・芝山町中央研修所、芝山町中央公民館



昨年の11月28日、芝山文化センター、芝山町役場南庁舎・芝山町中央研修所、芝山町中央公民館にて、第66回千葉県公民館研究大会が盛大に開催されました。

歓迎セレモニーでは、山武市成東中央公民館で活動している朗読クラブ「雪の会」とコカリナクラブ「バードコカリナ」により、朗読「里の秋」誕生物語が披露されました。また、桐朋学園芸術短期大学講師鈴木真貴子さんのピアノ演奏により、ソプラノ歌手竹之内淳子さんのリサイタルが行われました。

記念講演の登壇者は世界遺産アカデミー認定講師の片岡英夫さん。テーマは、『公民館から世界遺産を！！』～公民館講座の可能性～でした。

公民館活動から地域の再発見をすることで、世界に誇れる地元の自然や文化財を見出すことは決して夢ではないと述べられました。

今年度は、各分科会とも「連携」を課題としたテーマとなりました。

第1分科会のテーマは「民間との連携」。

県内で指定管理者により運営されている公民館の事例に基づき、活発な討議が行われました。

助言者からは、委託される業者は自治体から何を要求されているかを把握すること、自治体は業者の運営状況評価をどのような視点で行うか問われる、との考えが述べられました。

第2分科会のテーマは「公民館と各教育機関との連携」。

博物館や図書館、学校との連携についての事例が報告されました。公民館が各種教育機関との連携を主眼に置き、住民の学習活動をどう支えていくかについて議論しました。助言者からは、職員自らが主体的な活動や目的を持っているかが問題、との意見が示されました。

第3分科会のテーマは「地域との連携」。

公民館での学びがどのように人と人をつなげ、地域の絆を深めていくのか。公民館の可能性や地域に果たす役割について話し合いました。2つの事例とも、地域住民との連携により実現したものであり、地域に根ざした、住民が主体となったものでした。

第4分科会のテーマは「公民館の連携」。

県公連や地区公連での研修が重要であるが、短期異動等により、その中核となる職員が不足しているとの課題が再認識されました。また、研修とは異なった形での公民館のつながりや、職員が住民との関わりの中で学ぶということにも議論が広がりました。

第5分科会のテーマは「地域社会資源との連携」。

地域に密着した教育機関としての役割とその重要性を確認するとともに、開かれた教育機関として何が必要かを我々の周りにおける地域社会資源の活用・連携を通して考えました。

大会の運営にあたられた山武地区公連の皆さん、お疲れ様でした。



教えて!

公民館のしごとに役立つヒント

新規講座のテーマと内容構成

公民館業務において、既存の講座の運営は勿論、新たな講座を企画するのも重要な仕事です。今回はそうした際にポイントとなる「講座のテーマの見つけ方」と「講座内容の決め方」について、ヒントをご紹介します。と思います。

《講座のテーマの見つけ方》

新聞やテレビといったマスメディアをチェックしたり、地元の広報誌や館の利用者、市民の方々とのお話を通じて地域研究をすることで、今世間は何を求めているのか、この地域にはどんな課題があるのかが見えてきます。そうした課題に向き合える、解決するヒントになる講座こそ、市民の求める講座となっていきます。

《講座内容の決め方》

そもそも公民館は、個人の趣味に留まるカルチャーセンターとしてだけでなく、「地域に貢献できる人材育成の場」でもあります。そのため公民館で学んだことを、地域に還元できる人材が生まれるような講座の内容を考える必要があります。受講生が積極的に参加し、自ら学んでいけるような講座にするため、内容の構成も重要となってくるのです。

では実際にどう構成していくのか、通年形式の料理教室を例に考えてみましょう。

受講生は皆初めての方で、不安や緊張の中、講座が始まります。なので、1回目の講座ではグループに分かれて簡単なお茶菓子づくりとティーパーティーを行います。共同作業と談笑の時間を作ることで、受講生同士の意思疎通と今後の講座参加への不安感をなくします。

2回目、3回目以降の講座は、地域の特産品を使った料理や、郷土料理を作ってみたり、あるいは食品添加物や食物アレルギー問題についてグループごとに分かれて話し合い、次の講座でそうした問題を踏まえた料理を実際に作ってみます。

講座の後半の回は、館外に出て農家のお手伝いをする等、実際の地域に触れる機会を用意しても良いでしょう。受講生が進んで課題に向き合い、やがては地域づくりに貢献できる人材となるよう、ステップアップを意識した講座内容にすることで、公民館が主催する講座という意味が生きてくるのではないのでしょうか。

例：【料理教室】

- 1回目……お茶菓子づくりとティーパーティー
 - 2回目……忙しい時に簡単に作れる時短料理とテクニック
 - 3回目……「食物アレルギー」についての座学と意見交換
 - 4回目……アレルギーとなる材料を使わないで作るアイデア料理
 - 5回目……地域の郷土料理づくり、地産地消メニュー
 - 6回目……課外授業「地元の農家さんのお手伝い」 etc…
- ∴

以上、お役に立つかわかりませんがご紹介させていただきました。新規講座を企画する際、他館の内容を意識し過ぎて「こうでなくてはいけない」と固定化して考えるのはもったいないと思います。主役はあくまで受講生だということを念頭に、市民の求める講座を作れるよう、職員も日々学ばなくてはと思います。

まちより むらより、

「子ども菊づくり教室」

千葉市大宮公民館 ☎043-265-2284



大宮公民館では、隣接する小学校（千葉市立大宮小学校）との連携事業として、「子ども菊づくり教室」を実施しています。

公民館で活動する「菊づくり同好会」が、同校5年生に菊づくりの育成栽培を通して思いやりの心や植物への関心を高めてもらおうと毎年行っているも

のです。

菊づくりは、5月初めの肥料づくりから作業が始まります。その後新芽の挿し穂、6月の本鉢への移植を経て7月の三枝誘引を行い本格的な菊づくりとなります。害虫駆除や炎天下での水やり、台風時の移動など困難な管理作業を乗り越えて10月下旬には見事な大輪の花を咲かせます。

子どもたちは、6ヶ月に亘る菊づくりを通して地域の人たちから優しく教えていただけることに感謝し、自分たちの手で大輪を咲かせたことに自信や充実感を掴んでいるようです。

同好会の方たちは「菊づくりの指導を通じて我々も逆に子どもたちから励ましや元気をもらいます。」と活動の意義を話されています。

地元では子どもたちが育てた菊が、交番や郵便局、スーパーマーケット等で晩秋の町を彩る地域の風物詩となっています。

「聞き書き」をはじめませんか。—ひとりの学びがまちづくりに—

流山市中央公民館 ☎04-7158-3462



平成23年3月未曾有の被害をもたらした東日本大震災。何気なく暮らしていた生活を振り返らざるを得ない社会となり、身近でも戦前に生まれた高齢の方が亡くなっていく現実がありました。戦中戦後と激動の時代を女性たちはどう生きてきたのか、どんな暮らしだったのか、先輩女性が語る生活者の視点からの話しを聞き、記録していく「聞き書き」の手法を学び、記録集発行を目指して、女性セミナー「聞き書きを学ぼう！」を平成23年度に開催。そ

の修了生有志が「聞き書きの会みらい」というグループをつくり、中央公民館と連携して聞き書き活動を始めました。

80歳以上の女性にその方のライフヒストリーを聞く作業は戸惑いの連続でしたが、大変な時代の中でも懸命に生きてこられた女性の話しは、聞き手の心を揺さぶり、強く共感するものがありました。

聞き書きは、語り手の言葉でその人らしさが損なわれることのない文体で文字に残すこと。慣れないテープ起こしも協力し合い、原稿は最終的には語り手の方に読んで頂き、了解を頂いたうえで、これまで3冊の聞き書き記録を発行しました。語ってくださった方は勿論ですが、そのご家族にも地域の方々にも喜んで読んでいただいております。「聞き書きの会みらい」のメンバーは大きな達成感や喜びを味わったようです。今は4冊目発行に向け聞き書き活動中です。

公民館での一つの学習が、人との出会い、人と人とを繋ぎ合う喜びとなり、地味な活動ですが地域にとっても貴重な記録となり、まちづくりにもつながっていくように感じています。

持ちより公民館だより

「第63回茂原市文化祭」

茂原市本納公民館 ☎0475-34-2349



茂原市本納公民館では毎年11月の初めに文化祭を開催しています。今年は、11月1日～3日の3日間開催し、3日間と短い期間ですが、芸能部門に

よる発表、展示部門による出品展などがあり、多くの来場者が観に来られ大変盛り上がりしました。

芸能部門では自主グループによる発表が行われました。コーラスによる歌の合唱、優雅に踊るフラダンス、美しい音色のハーモニカ演奏、力強い銭太鼓、大人数で迫力のある吹奏楽など、皆さん日々の成果を大いに発揮し、発表された皆さんには、晴れ晴れとした表情が見られました。展示部門では気品溢れる陶芸品、美しい生花、風流な俳句、日本の美が満ち溢れる日本画など様々な作品が展示され、どの作品も力作揃いで、見る人の心を和やかにしてくれました。

また、公民館前では菊の花を販売しており、一般来場者にも好評でした。

今年も昨年以上に盛り上げようと思いますので是非皆さんのご参加をお待ちしております。

「世代を越えた交流」地域のこどもたちからのプレゼント

習志野市谷津公民館 ☎047-452-1509



公民館は、地域の交流の場。クリスマスが近づいた屋下がり、地域の谷津保育所年長組のみなさんが千成ひょうたんで作った人形を公民館で活動しているおじいちゃん、おばあちゃんにプレゼントしてく

れました。

5月に種をまき、夏に実となり9月には収穫です。子どもたちは、水をやりながら実が大きくなるのを楽しみにしていました。収穫後は、中身の種を全部取り出し、乾燥させて色塗りをし、目・手・帽子などをつけて、それぞれ、個性あふれる表情のひょうたん人形ができあがりました。たくさんできた人形は、公民館の高齢者学級…通称「寿学級」のおじいちゃん、おばあちゃんに、公民館のエリアにある幼・小・中学校との連携を図る谷津公民館地区学習圏会議のメンバーの方々に贈られました。

世界にひとつだけの人形をながめて「可愛いね」「上手だね」「ありがとうね」という言葉に子どもたちも嬉しい表情。その場で歌のプレゼントというサプライズも。和やかな午後となりました。

まちよりむらより、 持ちより公民館だより

「野草散歩」

東金市中央公民館 ☎0457-50-1191



身近にある見過ごしがちな草花も、知識を持って見れば新たな発見があるはず。今年はやっと寒くなるのが早くて草花はあまり見られませんでした。たくさんの秋を見つけることができました。

11月8日、東金市中央公民館では主催事業「野草散歩」を開催し、参加者19名と成田市の坂田ヶ池総合公園と隣接する房総風土記の丘を散策しました。けやきにクヌギなどの大きささまざまな種類のどんぐりが落ちていて、童心に返って収集に励み、珍しいものがあると講師を取り囲んで、「これは何の実？」など興味津々でした。また、時期的にクリスマスのリース材料を集めている方もいて、どんぐりのほかにも松ぼっくり、松の葉など袋いっぱい自然からのおみやげを持ち帰りました。

10年以上続いた人気講座でしたが、講師の交代に伴い、来年度からは趣きを変えてリニューアルした内容で開催する予定です。

「こどもチャレンジ教室」

富津市中央公民館 ☎0439-65-2251



こどもチャレンジ教室は、小学校高学年の子どもたちを対象とし、日常では触れる機会の少ない体験学習を通して、挑戦する心、自主性、創造性を育み、

仲間作りについて学ぶことを目的としています。

毎年夏休み（7月末～8月）に開講し、全4回行います。内容としては、第1回目に夏休みの宿題として役立つ工作や自由研究、第2回目は1泊2日の宿泊学習、第3回目は館外学習、第4回目は栄養を考えた調理実習となっています。どの回も子どもたちから好評ですが、特に宿泊学習と館外学習は大人気です。

回数が少ない教室ですが、子どもたちの考えや行動をあまり制限していないため、回を重ねるごとに成長しているのが目に見えます。またリピーターも多いため、毎年会うことができ担当としても楽しく仕事をさせてもらっています。

これからも子どもたちにとって、成長の場、思い出の場として参加してもらえようようにしたいと創意工夫していきたいと思っています。



平成26年度

(平成26年5月1日～平成27年5月1日)

自治公民館を含む
すべての公民館活動を
支援する制度です。

公民館総合補償制度

市町村の公民館および自治公民館、また社会教育法に定められた「公民館の目的」に寄与するための施設等は、名称を問わずご加入いただけます。指定管理者制度を導入された公民館もご加入いただけます。

1. 行事傷害補償制度 [災害補償保険(公民館災害補償特約・熱中症危険補償特約付帯)+見舞金制度]

保険

- 公民館行事参加者のケガを補償します。
- 公民館利用者のケガを補償します。
- 行事の事前練習、準備中、後片付け、行事参加者の往復途上のケガを補償します。

見舞金制度

- 急性疾病に死亡慰問金、入院見舞金(1日目から)を支給します。
- 公民館建物災害(火災・地震・水災)に見舞金を支給します。

補償例



- バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

行事傷害補償制度のここがおすすめ

手続きが簡単!

- 年1回の加入手続きで年間の行事が対象になり、個別の行事予定の通知は不要です。

補償範囲が広い!

- 日本国内であれば、行事の場所は問いません。
※別に定める危険な運動中などは対象外です。
- 公民館が参加者を事前に名簿で把握している場合は、往復途上も補償します。
- 食中毒や熱中症も補償します。
- 宿泊をともなう行事も対象です。

対象者が広い!

- 行事参加者や公民館利用者の居住地は問いません。
- 公民館が公認するサークル活動の参加者も補償します。
- 有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 親が参加する行事に同伴した同居の未就学児も補償します。

掛金の割引あり!

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入する場合には、掛金の割引制度があります。

2. 賠償責任補償制度 [賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約付帯)]

保険

- 公民館の施設の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、物を破損し、公民館が法律上の賠償責任を負担した場合に補償します。

注) 公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

補償例



- テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

3. 職員災害補償制度 [普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約付帯)+見舞金制度]

保険

- 公民館業務に携わる方の業務中のケガを補償します。

見舞金制度

- 公民館業務に携わる方の病気や業務外のケガに死亡弔問金や入院見舞金(1日目から)を支給します。

補償例



- 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては『平成26年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き』をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー総合補償サービスまたは損保ジャパン日本興亜までお寄せください。

■引受保険会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

営業開発部第三課
〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3
TEL 03-3593-6436
FAX 03-3593-6564

「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)
エコー総合補償サービス株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9
TEL ☎.0120-636-717
FAX ☎.0120-226-916

シリーズ・県内の
元気館

～地域の新たな芸術文化の
発信拠点へ!～

勝浦市芸術文化交流センター
Küste (キュステ)

☎0470-73-1001

Küste

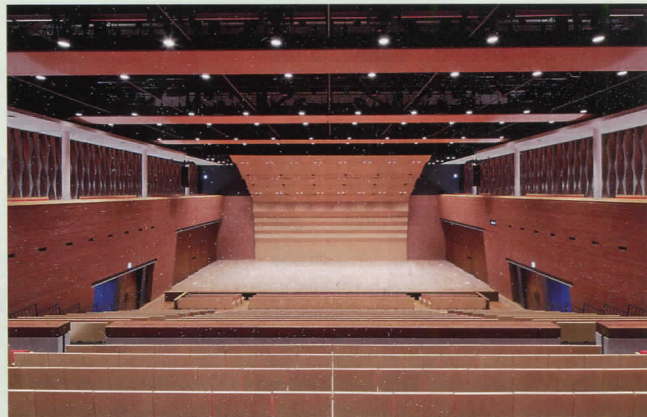
勝浦市芸術文化交流センター



勝浦市は千葉県の南東部、南房総国定公園の中に位置しリアス式の美しい海岸と房総丘陵の里山を持った自然豊かで、全国でも有数のカツオ・イセエビの水揚げのある漁港と安土桃山時代から続く日本三大朝市に数えられる朝市が魅力の静かなまちです。

平成26年12月20日に開館した勝浦市芸術文化交流センターの愛称のKüsteはドイツ語で海岸を意味する言葉で、一般公募212点から5点を選考し一般投票を行い決定されました。ü (ウーウムラウト) がにっこり笑っている人にも、握手をしている人にも見える所がポイントです。

設備の概要ですが、外観、内装にレンガを多用した温かみのある意匠になっており1階ホールは質の高い



音響・舞台装置を有し地域のサークル活動の発表からプロミュージシャンの公演まで幅広い活用が期待されています。

1階客席は地下に収容が可能で、舞台から客席、大会議室、廊下までが可動式の壁を取り払うと完全にフラットなオープンスペースとして利用可能になっています。舞台照明は全館の照明と合わせてLED化されているのも特徴です。



玄関から続くエントランスホールは大階段を配置した広々とした吹き抜け空間になっています。大階段は両サイドに昇降用、中央に雛壇が設けられ憩いの場や各種催し物の客席として活用できます。

2階は防音構造の多目的室、25畳敷きの和室、ピクチャーレールが設置されたリングギャラリー、オープンテラスとつながる調理室等の施設を有し、公民館的機能を備え日常的な芸術文化活動の場や生涯教育、社会教育の活動場所となることが期待されています。

開館を契機として、優れた音楽、舞台芸術の鑑賞をはじめ、文化活動の発表・交流の場として様々な用途にご利用いただき、社会教育、相互交流や地域活性化の拠点として、中核的な役割を果たす施設を目指して職員一同業務に取り組んでいきたいと思ひます。

ちばけん公民館
スタッフニュース

編集：千葉県公民館連絡協議会 広報委員会
委員長：岡村和志（銚子市市民センター）

発行：千葉県公民館連絡協議会
印刷：株式会社 秀英社